

ダイワ／アムンディ 食糧増産関連ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2011年6月13日～2021年6月11日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、投資するファンドを通じて、世界の人口拡大等による食糧需要増大を受け、今後成長が期待できる農業関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 ②株式への投資にあたっては、海外の農業関連企業の中から川上分野の企業の株式を投資対象とし、高い成長が期待できる銘柄に投資します。 ③当ファンドは「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

運用報告書（全体版） 第6期 （決算日 2017年6月12日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド」は、このたび、第6期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数(円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
2期末(2013年6月12日)	円 10,761	円 700	% 40.1	13,643	% 50.2	% 0.4	% 93.9	百万円 4,561
3期末(2014年6月12日)	11,725	1,000	18.3	17,251	26.4	0.4	96.2	2,878
4期末(2015年6月12日)	13,104	1,300	22.8	21,334	23.7	0.3	96.7	2,849
5期末(2016年6月13日)	10,466	0	△20.1	17,256	△19.1	0.1	98.7	1,908
6期末(2017年6月12日)	11,134	700	13.1	20,647	19.6	0.0	98.7	1,659

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数(円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIコクサイ指数(米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

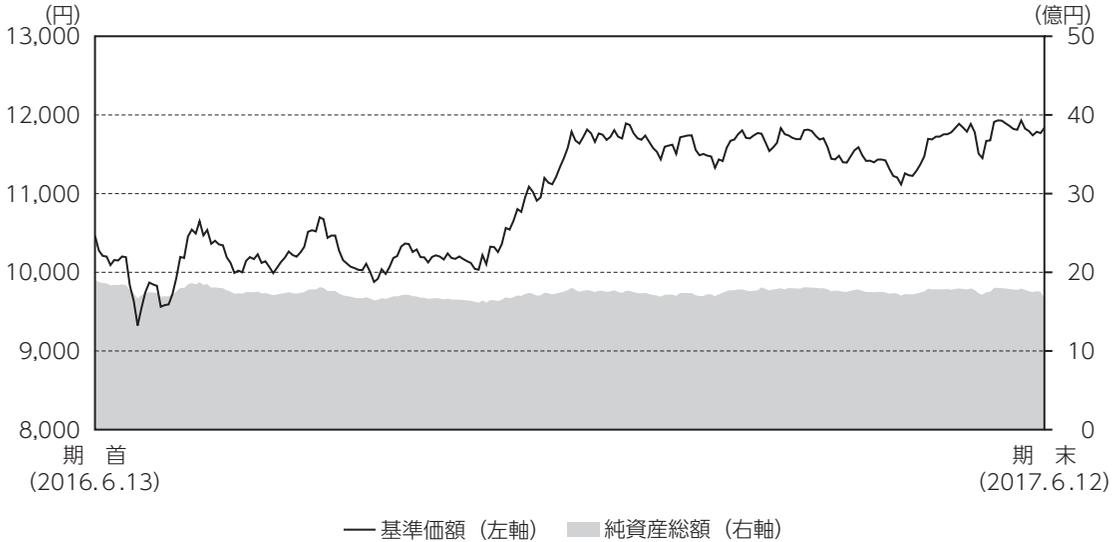
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,466円

期末：11,134円 (分配金700円)

騰落率：13.1% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、主に保有する米国と欧州企業の株価が上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数(円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 組 益 証 券 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2016年 6月13日	円 10,466	% -	17,256	% -	% 0.1	% 98.7
6月末	9,743	△ 6.9	16,379	△ 5.1	0.0	98.5
7月末	10,342	△ 1.2	17,391	0.8	0.1	98.6
8月末	10,515	0.5	17,310	0.3	0.1	98.7
9月末	9,978	△ 4.7	16,880	△ 2.2	0.1	98.7
10月末	10,168	△ 2.8	17,186	△ 0.4	0.0	98.7
11月末	10,951	4.6	18,739	8.6	0.1	98.5
12月末	11,701	11.8	19,881	15.2	-	98.7
2017年 1月末	11,554	10.4	19,824	14.9	0.1	98.6
2月末	11,588	10.7	20,193	17.0	0.1	98.2
3月末	11,590	10.7	20,344	17.9	-	98.6
4月末	11,725	12.0	20,420	18.3	0.1	98.6
5月末	11,821	12.9	20,658	19.7	0.0	98.8
(期末) 2017年 6月12日	11,834	13.1	20,647	19.6	0.0	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016.6.14～2017.6.12)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、期首から2016年11月上旬にかけては小幅な上昇となりましたが、その後の米国大統領選挙で予想外にトランプ氏が勝利したことで、同氏の減税やインフラ（社会基盤）投資などの経済政策への期待から市場のリスク選好が強まり、米国を中心に上昇基調となりました。米国トランプ政権の政策実行力への懸念や欧州の政治リスクが意識されたことなどから上値の重くなる局面もありましたが、米国を中心とした堅調な経済指標や企業業績、フランス大統領選挙で親EU（欧州連合）派のマクロン氏が勝利するなど、欧州政治に対する警戒感が後退したことなどが支援材料となり、期末にかけて上昇基調となりました。

穀物価格は、豊作が見込まれたことから2016年夏場に下落しました。その後、2017年の生産見通しに焦点が移る中、小麦やコーンは若干反発したものの、大豆は生産増加見通しとバイオ燃料需要の減少などから、期末にかけて一段安となりました。砂糖やパーム油価格は2017年年初まで堅調に推移しましたが、期末にかけて供給増などを受けて下落し、関連銘柄の株価もこれに沿った動きとなりました。圧搾・加工などを手掛ける農業サービス関連銘柄は、個別の材料でまちまちの動きでした。肉類価格は、供給増見通しなどから低迷したものの、需要回復などを受けて期末にかけて上昇しました。畜産関連銘柄は、各国の国内要因や企業固有の材料でまちまちな動きでした。肥料価格は需要減で2016年夏場まで下落した後、一部の減産で小反発しました。肥料関連銘柄の株価も2017年年初にかけて反発したものの、業績の回復が遅れたことなどから、その後は軟調に推移しました。農業機械関連銘柄は、需要底入れの兆しに加え、2016年秋以降は景気敏感的な側面が注目され、株価は上昇しました。農業化学関連銘柄の業況は厳しいものの、合併・買収の動き主導で株価は堅調でした。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

農産物関連銘柄では、大豆圧搾業者の利益率回復への期待などを背景に農業サービス関連銘柄の見通しが改善しましたが、もともと組入比率が高いことから、当面は現状程度の組入比率を維持していく方針です。また、農業サポート関連銘柄では、肥料・農業機械関連銘柄などへの慎重な姿勢を当面続けませんが、穀物価格の反発傾向の持続性が確認できれば、割安感の強いこれらの銘柄の組入比率を引き上げ、飼料費用の増加が逆風となる畜産関連銘柄の組入比率を引き下げていく方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016.6.14~2017.6.12)

■当ファンド

当ファンドは、「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当期は、「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れました。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

当期は、砂糖関連を中心に農産物関連銘柄の組入比率を引き上げた一方、畜産、農業化学関連銘柄の組入比率を引き下げました。砂糖関連銘柄ではアグラナ（オーストリアの製糖、でんぷん生産、果物加工会社）など3銘柄に新規に投資しました。畜産関連銘柄では利益確定でマリンハーベスト（ノルウェーの養殖大手）を売却したほか、タイソン・フーズ（米国の畜産最大手）の組入比率も引き下げました。農業化学関連銘柄では、中国企業による買収提案を受けたシンジェンタ（スイスの農薬大手）を売却しました。農業サービス関連銘柄では、業績が不振だったアーチャー・ダニエルズ・ミッドランド（米国の穀物メジャー、米国の穀物商社）の組入比率を引き下げた一方、輸送、乳製品加工、添加物製造などの銘柄へ新規に投資しました。農業機械関連銘柄は、ディア（米国の農機・建機メーカー）のパフォーマンスが好調だったことなどから組入比率が上昇しました。

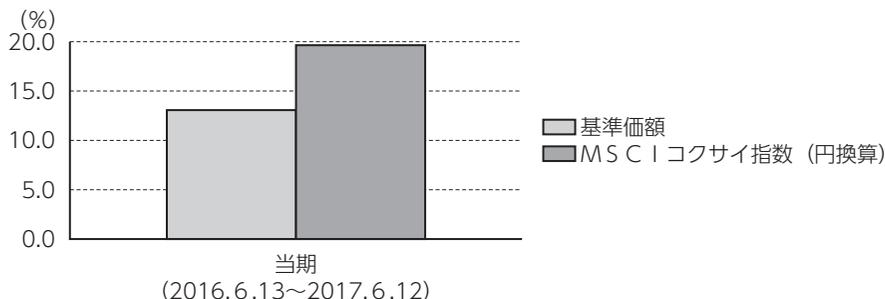
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いません。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は700円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年6月14日 ～2017年6月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	700
対基準価額比率	（％）	5.92
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	700
翌期繰越分配対象額	（円）	2,454

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	557.87
(d) 分配準備積立金	<u>2,597.05</u>
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,154.93
(f) 分配金	700.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,454.93

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

高水準の穀物生産量と価格の低位推移という状況は、数量効果の大きい農業サービス関連銘柄や、コスト安の恩恵を受ける畜産関連銘柄にとってプラス要因であり、現在の高い組入比率を維持する方針です。農業サポート関連銘柄では、肥料・農業機械関連銘柄などへの慎重な姿勢を当面続ける方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2016.6.14~2017.6.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	128円	1.168%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,960円です。
(投 信 会 社)	(41)	(0.377)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(83)	(0.754)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0.038)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	129	1.176	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年6月14日から2017年6月12日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	アムンディ・アグリ・アップ ストリーム株 ファンド (適格機関 投資家専用)	83,310.926	133,000	404,724.501	606,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年6月14日から2017年6月12日まで)

決 算 期	当 期						
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
公社債	百万円 416,951	百万円 88,002	% 21.1	百万円 -	百万円 -	% -	
コール・ローン	12,927,523	-	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	140,999	-	-	139,999	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエ
ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への
支払い比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への
支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファン
ドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アムンディ・アグリ・アップストリー ム株ファンド (適格機関投資家専用)	千口 1,003,860.274	千円 1,637,798	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 4,974	千口 4,974	千円 5,069

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,637,798	% 92.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	5,069	0.3
コール・ローン等、その他	131,500	7.4
投資信託財産総額	1,774,367	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年6月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,774,367,429円
コール・ローン等	131,500,068
投資信託受益証券(評価額)	1,637,798,037
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	5,069,324
(B) 負債	114,641,214
未払収益分配金	104,343,989
未払信託報酬	10,226,615
その他未払費用	70,610
(C) 純資産総額(A - B)	1,659,726,215
元本	1,490,628,421
次期繰越損益金	169,097,794
(D) 受益権総口数	1,490,628,421口
1万口当り基準価額(C/D)	11,134円

*期首における元本額は1,823,970,873円、当期中における追加設定元本額は169,826,465円、同解約元本額は503,168,917円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,134円です。

■損益の状況

当期 自2016年6月14日 至2017年6月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 12,868円
受取利息	1,679
支払利息	△ 14,547
(B) 有価証券売買損益	207,043,468
売買益	240,317,881
売買損	△ 33,274,413
(C) 信託報酬等	△ 20,523,100
(D) 当期損益金(A + B + C)	186,507,500
(E) 前期繰越損益金	43,242,327
(F) 追加信託差損益金	43,691,956
(配当等相当額)	(83,158,587)
(売買損益相当額)	(△ 39,466,631)
(G) 合計(D + E + F)	273,441,783
(H) 収益分配金	△104,343,989
次期繰越損益金(G + H)	169,097,794
追加信託差損益金	43,691,956
(配当等相当額)	(83,158,587)
(売買損益相当額)	(△ 39,466,631)
分配準備積立金	282,780,556
繰越損益金	△157,374,718

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	83,158,587
(d) 分配準備積立金	387,124,545
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	470,283,132
(f) 分配金	104,343,989
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	365,939,143
(h) 受益権総口数	1,490,628,421口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	700円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、6月12日現在の基準価額（1万口当り11,134円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年6月12日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を11ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年6月14日から2017年6月12日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	27,570,641			
613	国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379			
611	国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584			
601	国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392			
657	国庫短期証券 2017/4/17	17,880,344			
642	国庫短期証券 2017/2/6	17,230,250			
652	国庫短期証券 2017/3/27	16,550,132			
659	国庫短期証券 2017/4/24	16,270,410			
669	国庫短期証券 2017/6/12	15,870,490			
629	国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年6月12日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（69,619,558千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2017年6月12日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 2,080,000	千円 2,080,018	% 2.9	% -	% -	% -	% -	% 2.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年6月12日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	671	国庫短期証券	% -	千円 2,080,000	千円 2,080,018	2017/06/19

(注) 単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	2017年6月12日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,999	% <1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

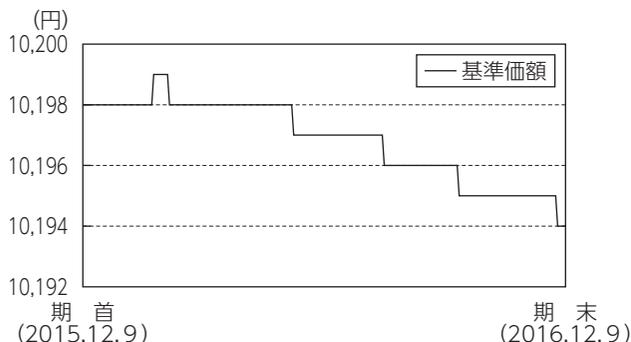
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額	騰落率	公社債比率
	円	%	%
(期首)2015年12月9日	10,198	-	55.2
12月末	10,198	0.0	52.1
2016年1月末	10,198	0.0	94.1
2月末	10,198	0.0	50.0
3月末	10,198	0.0	-
4月末	10,198	0.0	3.3
5月末	10,197	△0.0	0.1
6月末	10,197	△0.0	1.6
7月末	10,196	△0.0	19.1
8月末	10,196	△0.0	44.5
9月末	10,195	△0.0	25.5
10月末	10,195	△0.0	3.4
11月末	10,195	△0.0	26.7
(期末)2016年12月9日	10,194	△0.0	30.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,198円 期末：10,194円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用(その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公社債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国	買付額	売付額
	千円	千円
国内	285,828,471	11,349,138 (297,450,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国	買付額	売付額
	千円	千円
国内	17,999,984	16,999,986

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
629 国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
632 国庫短期証券 2016/12/12	14,020,490		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末 期			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	20,580,000	20,580,364	30.1	—	—	—	30.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを手入しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末 期		償還年月日
		額面金額	評 価 額	額面金額	評 価 額	
		千円	千円	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	—	—	14,020,000	14,020,113	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	—	2,010,000	2,010,039	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	—	4,550,000	4,550,211	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄 -----	-----	20,580,000	20,580,364	-----

(注) 単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	当 期		末 期	
	額	率	額	率
	千円	%	千円	%
国内短期社債等	999,999	—	—	<1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期		末 期	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	20,580,364	27.2	—	—
その他有価証券	999,999	1.3	—	—
コール・ローン等、その他	53,984,185	71.4	—	—
投資信託財産総額	75,564,549	100.0	—	—

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期	末 期
(A) 資産	75,564,549,239円	—
コール・ローン等	53,983,440,401	—
公社債(評価額)	20,580,364,994	—
現先取引(その他有価証券)	999,999,178	—
その他未取収益	744,666	—
(B) 負債	7,294,738,200	—
未払金	1,800,034,200	—
未払解約金	5,494,704,000	—
(C) 純資産総額(A-B)	68,269,811,039	—
元本	66,967,614,984	—
次期繰越損益金	1,302,196,055	—
(D) 受益権総口数	66,967,614,984口	—
1万口当り基準価額(C/D)	10,194円	—

* 期首における元本額は77,361,886,547円、当期中における追加設定元本額は229,319,669,570円、同解約元本額は239,713,941,133円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ F E グローバル・パリユー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・パリユー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ・R I C I Ⅱ* コモディ

ティ・ファンド8,952,508円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 740,564円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード1,987,559円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド - ハジメの一歩-129,891,397円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ2,529,771,704円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワノビリティ北米株式ファンド - パラダイムシフト-29,484,934円、(適格機関投資家専用) スマート・シックス・Dガード495,850,899円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV 21,858,178,543円、フル3倍日本株ポートフォリオIV 34,413,293,504円、2倍日本株ポートフォリオIV 6,512,563,667円、ダイワ F E グローバル・パリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 13,761,552円、ダイワノムンディ食糧増産関連ファンド4,974,315円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ197,896,688円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスⅡ - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還案項付) 為替ヘッジあり1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付・部分為替ヘッジあり) 27,494,856円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース3,874,449円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ソリンα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ソリンα (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ソリンαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は10,194円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 17,198,883円
受取利息	△ 3,050,070
その他収益金	△ 744,666
支払利息	△ 14,893,479
(B) 有価証券売買損益	△ 1,077,368
売買益	△ 242,421
売買損	△ 1,319,789
(C) その他費用	△ 139,970
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 18,416,221
(E) 前期繰越損益金	△ 1,530,291,621
(F) 解約差損益金	△ 4,723,800,173
(G) 追加信託差損益金	△ 4,514,120,828
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 1,302,196,055
次期繰越損益金(H)	△ 1,302,196,055

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

アムンディ・アグリ・
アップストリーム株ファンド
(適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第6期 (決算日 2017年1月25日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2011年6月14日から2021年6月10日までです。
運用方針	日本を除く世界の上場株式等を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用に当たっては、CPRアセットマネジメントに外貨建資産の運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	日本を除く世界の上場株式等
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎決算時(年1回、原則毎年1月25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス: <http://www.amundi.co.jp>

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	株 式 組 入 率 比	純 資 産 額 総
2期（2013年1月25日）	11,442	0	29.1	100.8	6,897
3期（2014年1月27日）	13,090	0	14.4	94.2	3,214
4期（2015年1月26日）	16,530	0	26.3	94.7	3,027
5期（2016年1月25日）	13,498	0	△18.3	94.7	1,923
6期（2017年1月25日）	16,066	0	19.0	99.7	1,707

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

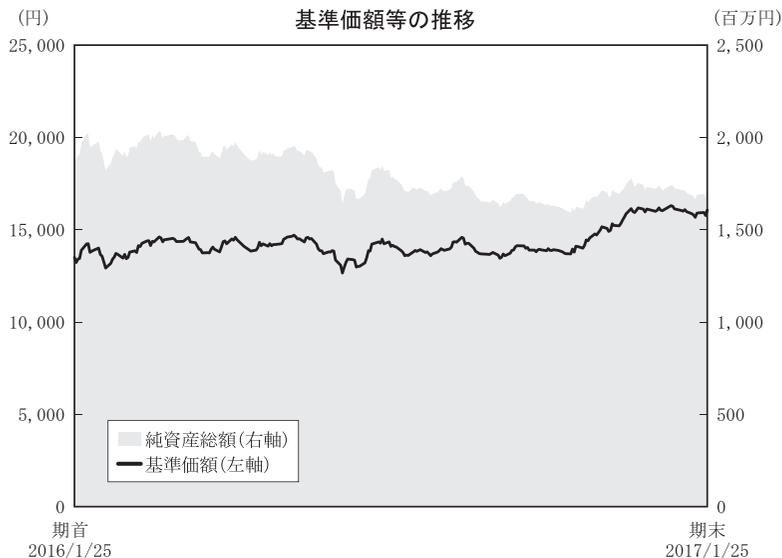
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率 比
(期 首) 2016年1月25日	13,498	—	94.7
1月末	13,887	2.9	95.2
2月末	13,854	2.6	94.7
3月末	14,574	8.0	98.4
4月末	14,461	7.1	98.8
5月末	14,709	9.0	98.7
6月末	13,233	△2.0	99.0
7月末	14,072	4.3	98.8
8月末	14,326	6.1	99.0
9月末	13,598	0.7	97.5
10月末	13,875	2.8	97.3
11月末	14,974	10.9	99.3
12月末	16,031	18.8	99.5
(期 末) 2017年1月25日	16,066	19.0	99.7

（注）騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第6期首	13,498円
第6期末	16,066円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	19.0%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ①一時的なショックはあったものの、世界の株式市場が全般に上昇基調で推移したこと
- ②前期の豊作や当期の豊作期待から、農業サービス関連銘柄が年間を通じて堅調に推移したこと
- ③当期前半に飼料価格の低迷や中国などの需要拡大を背景に畜産関連銘柄が堅調に推移したこと
- ④当期後半に業績底入れ期待や循環的なバリュー銘柄を物色する流れに乗って肥料、農業機械、農業化学関連が堅調に推移したこと
- ⑤2016年10月から12月にかけて日米金利差拡大などを背景に円安となったこと

下落要因

- ①期首から9月後半にかけて全般に円高傾向で推移したこと
- ②個別の材料で失望的な決算となる銘柄がいくつかみられたこと

【投資環境】

＜グローバル株式市場＞

新興国経済をめぐる懸念が和らぐ中、当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。中国が6%台に成長率を軟着陸させたことに加え、ロシア、ブラジル、中東諸国といった産油国も、協調減産などによる原油価格の回復を背景に状況悪化に歯止めがかかりました。先進国では、欧州株が英国のEU（欧州連合）離脱決定やイタリアなどの金融不安で期初から方向感のない動きが続いており、米国株も2016年2月から夏場にかけての反発以降は、米国大統領選挙の行方や金利の不透明感から秋口まで方向感のない展開でした。しかし期末にかけては、財政刺激策や減税などトランプ政権の政策によって経済成長が改善するという観測に支えられ、欧米ともに株価は大きく上昇しました。

＜農業関連株式市場＞

当期の農業関連株はおおむね好パフォーマンスでした。主要穀物は前年度に続き、記録的な豊作となり、トウモロコシや小麦価格は安値圏で推移しました。大豆価格は2016年3月から6月にかけて天候要因で反発し、その後豊作見込みで反落したものの、前期末を上回る価格水準で当期を終えました。豊作により、収穫量に敏感な農業サービス関連銘柄は期を通じて堅調でした。農産物関連は個別銘柄要因で小幅下落となりました。畜産は安い飼料価格が追い風となったものの、当期後半には物色の対象外となりました。農業化学は、業界再編期待が支えとなりました。農業機械は、需要底打ち期待や米国大統領選挙後の景気循環セクターを選好する流れで上昇が加速しました。肥料は、減産や原材料価格上昇で、肥料価格に回復の兆しがみられたことが寄与し、当期末にかけて上昇しました。

＜為替市場＞

日銀が2016年1月末にマイナス金利導入を決めたものの、米国の追加利上げ先送り観測などから、当期前半の米ドル円相場は円高傾向で推移しました。6月の英国の国民投票をめぐる不透明感も円高要因となり、特に英ポンドはEU離脱が決定すると大きく下落しました。しかし、9月後半以降は米国の年内利上げ見込みが強まった一方、日銀が新しい金融緩和の枠組みを発表したことなどから、円安に転じました。米国大統領選挙の結果も米ドル高の材料と受け取られ、12月半ばには期首の水準近くまで米ドルが反発しました。しかし、当期末にかけてはトランプ米大統領の中国元に関するけん制発言から米ドル円についても警戒が強まり、若干円高方向に振れて期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

当ファンドは、主として日本を除く世界の農業関連企業の中から主に川上分野の企業の上場株式等に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行いました。当ファンドの運用方針に基づき、株式の組入比率は高位を維持しました。

期首時点のポートフォリオは、農産物6%、農業サービス27%、畜産22%、農業化学15%、農業機械8%、肥料15%、現金5%の配分でした。農産物については8月以降砂糖関連銘柄などを買い越し、期末には9%まで比率が上昇しました。農業サービスは期中25~30%の配分をおおむね維持し、期末は27%でした。好業績で相対パフォーマンスが良かった畜産は8月には30%近くまで組入比率が上昇しましたが、9月にタイソン・フーズなど畜産の利益を一部確定して組入れを引き下げ、期末は21%でした。農業化学は期中15%から17%の配分を維持しました。農業機械も7%から9%の配分を維持しました。肥料に関しては、9月に11%まで配分を減らしましたが、11月以降は引き上げ、期末は17%の配分でした。現金は1%未満まで減らしました。

（CPRアセットマネジメント）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の投資環境見通し】

<グローバル株式市場>

2017年の世界経済は3%あまりの拡大が見込まれ、企業収益も引き続き10%近い成長が期待できます。インフレ率、金利は若干の上昇が見込まれますが、基本シナリオの2%前後のインフレ率であれば、株価にはプラスに影響するとみています。もっとも、株価は好材料をある程度織り込んだ水準であり、米国の10年国債利回りが3%を超す水準までに急上昇するようであれば、株価の反落リスクが高まるとみています。

<農業関連株式市場>

2016年の北半球の穀物収穫は極めて良好となり、高い在庫水準が穀物価格の上昇を当面抑制することが考えられます。現時点で今季の収穫見込みを判断することは時期尚早ながら、ブラジルなどでは作付が順調に進んでおり、今のところ穀物の需給関係が大きく変化するような問題は発生していません。一方、供給に制約のある砂糖の価格はしっかりした動きが予想されます。農業機械、肥料、農薬などへの需要には下げ止まりの気配があるものの、肥料は引き続き供給過剰の状態が続くとみています。

(CPRアセットマネジメント)

【今後の運用方針】

業種配分においては、豊富な穀物生産高が恩恵となる農業サービスを最も選好します。農産物セクターでは、供給不足が続くとみられる砂糖製造企業の組入れの引き上げを検討しています。畜産についても、飼料コストの安値安定が追い風となるため強気です。需給が良好な養殖関連銘柄も組入れを引き上げる予定です。農業機械の需要は底入れする可能性があるものの、バリュエーションが割高であり、限定的な組入れにとどめる方針です。肥料と農業化学もファンダメンタルズ（基礎的条件）は依然として弱い状況です。しかし、株価に割安感がある肥料が物色される局面もあるとみられ、昨年ほどの弱気ではありません。農業化学は進行中の3つの大型合併案件の成立がカギとみています。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 6 期 (2016年1月26日 ～2017年1月25日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	115円 (108) (1) (6)	0.805% (0.756) (0.005) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	12 (12)	0.083 (0.083)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.040 (0.040)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	18 (15) (1) (2)	0.126 (0.103) (0.010) (0.013)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	151	1.054	

期中の平均基準価額は14,299円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況（2016年1月26日から2017年1月25日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ア メ リ カ	百株 697	千米ドル 2,553	百株 1,668	千米ドル 6,219
	カ ナ ダ	98	千カナダドル 926	14	千カナダドル 155
	ブ ラ ジ ル	198	千ブラジルリアル 381	—	千ブラジルリアル —
国	ユ		千ユーロ		千ユーロ
	ド イ ツ	133	477	52	275
	オ ラ ン ダ	108	356	23	72
	ス ペ イ ン	—	—	3	15
ロ	ア イ ル ラ ン ド	197	457	6	10

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	イ ギ リ ス	百株 173 (60)	千英ポンド 166 (180)	百株 286 (63)	千英ポンド 377 (180)
	ス イ ス	12 (36)	千スイスフラン 319 (1,322)	21 (36)	千スイスフラン 730 (1,322)
	ノ ル ウ ェ ー	63	千ノルウェークローネ 1,569	603 (-)	千ノルウェークローネ 9,915 (141)
	香 港	5,450	千香港ドル 3,342	630	千香港ドル 423
国	シ ン ガ ポ ー ル	592	千シンガポールドル 98	2,263	千シンガポールドル 687
	イ ス ラ エ ル	-	千イスラエルシェケル -	39	千イスラエルシェケル 62

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,677,012千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,776,086千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	0.94

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■主要な売買銘柄（2016年1月26日から2017年1月25日まで）

株 式

銘 柄	買 付			売 付		
	株数	金 額	平均単価	株数	金 額	平均単価
WH GROUP LTD(香港)	千株 545	千円 45,475	円 83	千株 23	千円 174,773	円 7,343
CANADIAN NATL RAILWAY CO(カナダ)	6	40,775	6,371	23	109,637	4,626
TRACTOR SUPPLY CO(アメリカ)	3	36,070	9,748	6	82,330	13,279
GLANBIA PLC(ユーロ・アイルランド)	17	35,555	1,992	43	75,464	1,731
PHOSAGRO OAO-GDR(アメリカ)	25	35,158	1,404	1	60,008	42,378
ZOETIS INC(アメリカ)	6	32,444	4,842	199	49,329	247
AGRIUM INC(カナダ)	3	31,479	9,258	15	41,786	2,628
HORMEL FOODS CORP(アメリカ)	7	27,862	3,765	12	36,404	2,967
BUCHER INDUSTRIES AG-REG(スイス)	1	26,716	25,396	4	31,362	6,672
KONINKLIJKE DSM NV(ユーロ・オランダ)	4	26,354	6,221	17	28,240	1,661
TYSON FOODS 'A'(アメリカ)						
ARCHER-DANLS.-MIDL.(アメリカ)						
INGREDION INC(アメリカ)						
MARINE HARVEST(ノルウェー)						
SYNGENTA AG-2ND LINE(スイス)						
WILMAR INTERNATIONAL LTD(シンガポール)						
MOSAIC CO/THE(アメリカ)						
SALMAR ASA(ノルウェー)						
BUNGE LTD(アメリカ)						
POTASH CORP OF SASKATCHEWAN INC(アメリカ)						

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨建金額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

■利害関係人との取引状況等（2016年1月26日から2017年1月25日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2017年1月25日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
AGCO CORP	73	47	298	33,929	資本財	
DU PONT E I DE NEMOURS	7	11	83	9,514	素材	
ARCHER-DANLS.-MIDL.	401	166	741	84,321	食品・飲料・タバコ	
DARLING INGREDIENTS INC	21	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
DEERE	105	87	936	106,543	資本財	
DOW CHEMICALS	83	67	399	45,449	素材	
FMC CORP	—	34	209	23,833	素材	
HORMEL FOODS CORP	—	42	153	17,455	食品・飲料・タバコ	
INTL.FLAV.& FRAG.	18	19	227	25,833	素材	
MCCORMICK & CO NV.	—	17	159	18,185	食品・飲料・タバコ	
BRF SA-ADR	454	373	552	62,831	食品・飲料・タバコ	
MONSANTO	89	85	925	105,225	素材	
POTASH CORP OF SASKATCHEWAN INC	318	227	451	51,302	素材	
SOCIEDAD QUÍMICA Y MINERA DE CHILE SA	48	—	—	—	素材	
BUNGE LTD	207	160	1,099	125,023	食品・飲料・タバコ	
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	—	10	152	17,378	運輸	
TYSON FOODS 'A'	309	71	443	50,472	食品・飲料・タバコ	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	150	116	427	48,619	素材	
MOSAIC CO/THE	223	64	214	24,349	素材	
INGREDION INC	89	27	344	39,219	食品・飲料・タバコ	
ZOETIS INC	—	60	322	36,701	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CNH INDUSTRIAL NV	339	—	—	—	資本財	
(アメリカ・・・米国店頭市場)						
ANDERSONS INC/THE	6	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
TRACTOR SUPPLY CO	—	35	263	29,920	小売	
PILGRIM'S PRIDE CORP	146	154	290	33,017	食品・飲料・タバコ	
(アメリカ・・・ロンドンインターナショナル市場)						
PHOSAGRO OAO-GDR	—	243	374	42,563	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	3,086	2,115	9,070	1,031,691	
	銘柄数 < 比率 >	19	22	—	<60.4%>	
(カナダ・・・トロント市場)				千カナダドル		
CANADIAN NATL RAILWAY CO	—	61	571	49,455	運輸	
AGRIUM INC	80	103	1,495	129,356	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	80	164	2,067	178,812	
	銘柄数 < 比率 >	1	2	—	<10.5%>	

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄		期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(ブラジル・・・サンパウロ市場)		百株	百株	千ブラジルレアル	千円	食品・飲料・タバコ	
SAO MARTINHO SA		—	198	396	14,240		
小 計	株 数 ・ 金 額	—	198	396	14,240		
	銘柄数 < 比率 >	—	1	—	<0.8%>		
(ユーロ・・・ドイツ)				千ユーロ		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 食品・飲料・タバコ 素材	
BAYER AG		3	—	—	—		
SUEDZUCKER AG		—	89	224	27,390		
K+S AG		5	—	—	—		
小 計	株 数 ・ 金 額	8	89	224	27,390		
	銘柄数 < 比率 >	2	1	—	<1.6%>		
(ユーロ・・・オランダ)						素材 素材	
KONINKLIJKE DSM NV		—	37	220	26,918		
CORBION NV		73	121	292	35,712		
小 計	株 数 ・ 金 額	73	158	513	62,630		
	銘柄数 < 比率 >	1	2	—	<3.7%>		
(ユーロ・・・スペイン)						食品・飲料・タバコ	
VISCOFAN SA		3	—	—	—		
小 計	株 数 ・ 金 額	3	—	—	—		
	銘柄数 < 比率 >	1	—	—	<—%>		
(ユーロ・・・アイルランド)						食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ	
GLANBIA PLC		—	171	268	32,789		
KERRY GROUP 'A'		—	19	127	15,501		
小 計	株 数 ・ 金 額	—	191	395	48,290		
	銘柄数 < 比率 >	—	2	—	<2.8%>		
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	85	440	1,133	138,311		
	銘柄数 < 比率 >	4	5	—	<8.1%>		
(イギリス・・・英国市場)				千英ポンド		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 素材 食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ 素材	
GENUS PLC		50	—	—	—		
CRODA INTERNATIONAL PLC		63	—	—	—		
DEVRO PLC		108	—	—	—		
ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC		181	128	319	45,458		
TATE & LYLE		112	214	144	20,609		
CRODA INTERNATIONAL PLC		—	56	191	27,312		
小 計	株 数 ・ 金 額	515	400	655	93,380		
	銘柄数 < 比率 >	5	3	—	<5.5%>		
(スイス・・・スイス電子市場)				千スイスフラン		資本財 素材	
BUCHER INDUSTRIES AG-REG		—	3	86	9,799		
SYNGENTA AG-2ND LINE		—	22	961	109,212		
(スイス・・・V I R T - X市場)						素材	
SYNGENTA		34	—	—	—		
小 計	株 数 ・ 金 額	34	25	1,047	119,012		
	銘柄数 < 比率 >	1	2	—	<7.0%>		

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄		期首(前期末) 株数	当 期 末		業 種 等	
			株数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(ノルウェー・・・オスロ市場)		百株	百株	千ルウェークロネ	千円	
	YARA INTERNATIONAL	45	—	—	—	
	MARINE HARVEST	435	—	—	—	
	SALMAR ASA	141	81	1,951	26,555	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	622 3	81 1	1,951 —	26,555 <1.6%>	
(香港・・・香港市場)				千香港ドル		
	WH GROUP LTD	3,770	8,590	4,913	72,031	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,770 1	8,590 1	4,913 —	72,031 <4.2%>	
(シンガポール・・・シンガポール市場)				千シンガポールドル		
	WILMAR INTERNATIONAL LTD	1,996	—	—	—	
	FIRST RESOURCES LTD	1,457	1,782	352	28,248	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,453 2	1,782 1	352 —	28,248 <1.7%>	
(イスラエル・・・テルアビブ市場)				千イスラエルシェケル		
	ISRAEL CHEMICALS LTD	39	—	—	—	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	39 1	— —	— —	— <—%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,687 37	13,796 38	— —	1,702,283 <99.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

アムンディ・アグリ・アップストリーム株ファンド（適格機関投資家専用）

■投資信託財産の構成（2017年1月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,702,283	% 99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,114	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,714,397	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産（1,706,273千円）の投資信託財産総額（1,714,397千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年1月25日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=113.74円、1カナダドル=86.47円、1ブラジルリアル=35.87円、1ユーロ=121.99円、1英ポンド=142.47円、1スイスフラン=113.63円、1ノルウェークローネ=13.61円、1香港ドル=14.66円、1シンガポールドル=80.06円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年1月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,714,397,096円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,247,512
株 式(評価額)	1,702,283,111
未 収 配 当 金	1,866,473
(B) 負 債	6,939,996
未 払 信 託 報 酬	6,852,467
未 払 利 息	21
そ の 他 未 払 費 用	87,508
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,707,457,100
元 本	1,062,798,612
次 期 繰 越 損 益 金	644,658,488
(D) 受 益 権 総 口 数	1,062,798,612口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,066円

(注記事項)

期首元本額	1,425,396,412円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	362,597,800円

■損益の状況

当期 自2016年1月26日 至2017年1月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	38,061,570円
受 取 配 当 金	38,013,547
受 取 利 息	49,310
そ の 他 収 益 金	320
支 払 利 息	△ 1,607
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	251,738,024
売 買 損 益	445,289,654
売 買 損 益	△193,551,630
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,859,530
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	272,940,064
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	197,365,921
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	174,352,503
(配 当 等 相 当 額)	(130,741,807)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,610,696)
(G) 計 (D + E + F)	644,658,488
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	644,658,488
追 加 信 託 差 損 益 金	174,352,503
(配 当 等 相 当 額)	(130,741,807)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,610,696)
分 配 準 備 積 立 金	577,298,440
繰 越 損 益 金	△106,992,455

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用

信託約款第42条に規定する計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年10,000分の28以内の率を乗じて得た金額を支払っております。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市場動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

《お知らせ》

- ・平成28年9月7日付で、投資対象の業種区分を三分類からより詳細な六分類に変更したため、投資信託約款に所要の変更を行いました。